



達成率は低下傾向 実態をもとに継続的な指導を

【春に実施をした目的】

「児童の実態を把握し年度内により効果的な指導ができるように」といった理由から、今年度から春に鉄棒運動実態調査を行いました。

【逆上がり 調査結果】

⇒秋に実施の結果

⇒春に実施の結果

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
6年生	77.1%	73.9%	70.8%	68.0%	66.7%	63.7%
5年生	70.8%	68.8%	64.7%	64.6%	63.9%	59.8%
4年生	68.8%	63.3%	62.8%	59.8%	57.3%	55.9%
3年生	58.9%	59.4%	54.0%	55.3%	52.8%	51.7%

【足抜き回り 調査結果】

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
2年生	85.7%	81.5%	84.2%	84.6%	81.1%	80.6%
1年生	85.9%	84.3%	81.2%	79.5%	76.6%	72.7%

【後方支持回転 調査結果】

	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
6年生	29.4%	25.1%	22.8%	23.1%	22.9%	19.3%
5年生	24.1%	22.3%	21.1%	21.5%	20.1%	17.1%
4年生	24.3%	21.4%	18.5%	17.3%	16.6%	15.6%
3年生	18.9%	16.6%	13.4%	14.8%	13.8%	13.7%

鉄棒運動実態調査を春に実施したということもあり、どの学年でも記録が低下しています。しかし、各学年の発達段階や実態に応じた適切な指導を継続していくことによって、達成率は向上してだけでなく、来年度にもつながります。

前年度の秋から記録が減少していることから、「足抜き回り」「逆上がり」「後方支持回転」の習得のためには**継続的に鉄棒の基礎感覚を養うこと**が重要になると考えられます。

そのためには、児童が運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、**様々な機会を狙って技に関連した優しい運動遊び・運動をたくさん取り入れたり、段階的に取り組めるようにしたり**する必要があります。また、鉄棒運動に限らず、跳び箱やマットを使った運動遊びなどでも楽しく基礎感覚を養わせたいです。

裏面では、鉄棒運動の技能向上につながる運動や手立てを紹介します。ぜひ各校で鉄棒指導の参考にしてみてください。